

	公表	事業所における自己評価総括表
--	----	----------------

○事業所名	ビックママ スーパーキッズ 児童発達支援			
○保護者評価実施期間	年 月 日 ～ 年 月 日			
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	0	(回答者数)	0
○従業者評価実施期間	2025年12月15日 ～ 2025年12月19日			
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	5	(回答者数)	5
○事業者向け自己評価表作成日	2026年1月30日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	こどもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画を作成しています。	児童発達支援計画を作成する際には、以下の点を工夫しています。 個別ニーズの徹底分析：こどもと保護者の具体的なニーズを詳細に把握します。 多角的な視点の導入：専門家の意見を取り入れ、客観的な分析を行います。 継続的なフィードバック：計画の進捗を定期的に評価し、必要に応じて修正します。 コミュニケーションの強化：保護者との密な連携を図り、共に支援を進めます。 このように、計画の質を高めるための取り組みを意識的に行っています。	・事業所のオープンデイを設けるなどして、こどもたちの様子や関わりをいつでも見てもらえるように計画を進めています。
2	活動プログラムについて固定化しないように工夫しています。	児童発達支援活動プログラムを固定化しないために、以下の点を工夫しています。 柔軟なプログラム設計：こどもの成長や興味に応じて内容を随時見直します。 多様なアクティビティの導入：様々な活動を取り入れ、飽きさせない工夫をします。 保護者との連携：定期的に意見を交換し、プログラムの改善に役立てます。 フィードバックの活用：こどもたちの反応を基に、プログラムを調整します。 このように、常に新しい視点を取り入れる努力をしています。	さらに充実を図るために、以下の取組を行っています。 継続的な評価と改善：定期的に活動の効果を見直し、改善を図ります。 多様なニーズに対応：個々のニーズに応じた柔軟な支援を提供します。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	各種情報の発信力について。	事業所では、ホームページやSNSの活用、保護者向けのおたよりの発行など、情報発信を定期的に行うよう努めています。しかし、受け手からのフィードバックがないと、情報発信の効果を測定することが難しく、改善点を見つけるのが困難です。この点が課題となっています。	・定期的な情報発信スケジュールを設定し、メッセージを発信します。また、アンケートを活用して受け手からのフィードバックを収集し、受け手の反応を把握して次の情報発信に反映させるなど、工夫したいと考えています。
2	地域連携を含む外部との連携について。	地域の児童発達支援センターとは適切に連携できていますが、その他の地域とのつながりについては、事業所が市街地にあるという立地条件を十分に活用できていない状況です。	・地域商店街主催の防災訓練などに参加し、こどもたちの社会参加を促進します。また、「顔の見える関係」の構築と連携のために、時間を確保することに努めたいと思います。
3	非常時の対応に関する認知度が低いことについて。	事業所では、事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルなどを策定し、ホームページにも掲載しています。しかし、これらのマニュアルが正しく理解されていない部分が多いと考えています。	・非常時の対応について、SNSでの定期的な情報共有、教室掲示など様々な情報発信手段を用いて、情報伝達に努めたいと思います。